

既存施設を解体した跡地に新施設を整備する案に関する考察

(1) 既存施設を解体した後、跡地に新施設を建設する場合

年	2014年度 1年目	2015年度 2年目	2016年度 3年目	2017年度 4年目	2018年度 5年目	2019年度 6年目	2020年度 7年目	2021年度 8年目	2022年度 9年目	
新施設設計 既存施設解体計画	要求水準書作成	入札・事業者選定	詳細設計						
各種調査	ダイオキシン・石綿・土壌汚染対策									
既存解体のための 仮設工事				仮設工事						
既存施設解体工事				地上部・地下部解体						
既存煙突解体工事				煙突撤去						
建築・プラント・ 外構工事							新施設 建築・プラント・外構工事		試運転	
ごみ処理を市外に 委託する期間				最低でも5年程度、町田市内にゴミ焼却場が無くなるため、市内でゴミ処理ができなくなります						

新施設本格稼働
事業完了

○ ごみ処理を外部委託する場合の処理費（試算値）

品目	1年間の委託量※1	ごみ1トンあたりの処理単価※2	施設建替え中（5年間）の処理費
燃やせるごみ	88.0千トン	4万～4.5万円	176億～198億円
燃やせないごみ	5.9千トン	4万～4.5万円	11.8億～13.3億円
粗大ごみ	5.3千トン	4万～4.5万円	10.6億～11.9億円

※1：町田市一般廃棄物資源化基本計画の基準年である2009年の実績値を根拠としています。

※2：市外でゴミを処理する場合には、受け入れ先自治体との協議が必要です。現時点では、具体的な受け入れ先を任意に設定することができないため、収集運搬費については処理単価に含めておりません。

(2) 新施設を建設した後、既存施設を解体する場合

年	2014年度 1年目	2015年度 2年目	2016年度 3年目	2017年度 4年目	2018年度 5年目	2019年度 6年目	2020年度 7年目	2021年度 8年目	2022年度 9年目
新施設設計 既存施設解体計画	要求水準書作成	入札・事業者選定	詳細設計					
各種調査	ダイオキシン・石綿・土壌汚染対策			既存施設の解体までに、敷地内の状況等を考慮しながら最適なタイミングで実施します。					
既存解体のための 仮設工事	既存施設解体のための仮設工事は、新施設を建設・稼働した後にいきます。						仮設工事		
既存施設解体工事	既存施設は、新施設を建設・稼働した後、解体します。						地上部・地下部解体		
既存煙突解体工事	既存煙突は、新施設を建設・稼働した後、解体します。						煙突撤去		
建築・プラント・ 外構工事				新施設建築・プラント・外構工事			試運転	新施設本格稼働	
ごみ処理を市外に 委託する期間	ごみ焼却場が常に稼働しているため、市内でのゴミ処理が常時可能です。								

事業完了